

第12回伊那地域定住自立圏共生ビジョン協議会 会議録

開催日	令和3年2月24日(水)			
開催時間	開 会	午後3時00分	閉 会	午後3時50分
開催場所	防災コミュニティセンター 第1・第2研修室			
委員出席者	伊那市区長会 箕輪町区長会 南箕輪村区長会 伊那中央行政組合 伊那市社会福祉協議会 伊那商工会議所 南箕輪村商工会 伊那バス(株) ジェイアールバス関東(株)中央道支店 (有)白川タクシー 長野県宅地建物取引業協会南信支部 伊那市観光協会 NPO法人子ども・若者サポートはみんぐ 伊那市保育園保護者連合会 上伊那PTA連合会 信州大学	坂井 邦次 北原 敏道 越後 幸益 宮原 文彰 矢澤 秀樹 小林 旬子 中川 博夫 福澤 信義 宮本 昭一 白川 光朗 大村 裕一 伊藤 隆博 戸枝 智子 澤西 光子 西村 深雪 鈴木 純		
オンライン出席者	公募	竹口 美咲		
欠席者	箕輪町商工会 上伊那農業協同組合 上伊那森林組合	向山 淳 小池 由夫 原 武志		
委員以外の出席者	上伊那地域振興局企画振興課長	下條 伸彦		
出席した事務局職員	伊那市企画部長 伊那市企画部地域創造課長 箕輪町企画振興課長 南箕輪村地域づくり推進課企画係長 伊那市商工振興部産業立地推進課長 伊那市保健福祉部子育て支援課長 伊那市企画部企画政策課長 伊那市総務部秘書広報課長 伊那市総務部総務課長 伊那市福祉部福祉相談課相談支援係 伊那市企画部地域創造課人口増推進係長	飯島 智 白鳥 英一 毛利 岳夫 山口 弘一郎 平澤 浩 網野 喜彦 重盛 巧 泉澤 正広 飯島 伸一 木ノ嶋 志津子 田中 久		

	伊那市企画部地域創造課人口増推進係 箕輪町企画振興課まちづくり政策係長	伊藤 貴 小笠原 岳大
議 事	(1) 共生ビジョン意見聴取の結果について (2) 第2期共生ビジョン(素案)について (3) 今後のスケジュールについて (4) その他	
配布資料	資料1 第2期伊那地域定住自立圏共生ビジョン 資料2 第2期伊那地域定住自立圏共生ビジョン(素案) 資料3 今後のスケジュールについて	意見整理表

1 開会

2 会長あいさつ

現在の定住自立圏共生ビジョンが、今年度末で計画期間が終了となるため、委員の皆様にご協力をいただき、第2期共生ビジョンの策定を進めている。

前回、協議会以降、素案を確認いただき、委員の皆様からいただいたご意見等を踏まえ、計画案を作成した。今後5年間の伊那市、箕輪町、南箕輪村の3市町村での将来像や具体的な取組を決めるものになりますので、委員の皆様には、積極的にご意見いただきたい。

3市町村の住民の皆さんが住みやすい地域となるよう活発な議論お願いするとともに、円滑な議事の進行にご協力をお願いしたい。

3 会議事項(進行:坂井会長)

(1) 共生ビジョン意見聴取の結果について

会 長: 事務局から説明をお願いします。

事務局: (資料1により説明)

会 長: 説明内容について、御意見、御質問等はあるか。

(特になし)

(2) 第2期共生ビジョン(素案)について

会 長: 事務局から説明をお願いします。

事務局: (資料2により説明)

事務局: P13 重要業績評価指標(KPI)について目標値に誤植があった。正しくは乗合率45%。

会 長: 説明内容について、御意見、御質問等はあるか。

委 員: 事業名が「人材育成・交流促進」とあるが、市町村間での交流人事のようなものがあるのか。また、P15のモバイルクリニック事業におけるオンライン服薬指導や医薬品の配送についても規制等が大変かと思うが引き続き検討していただきたい。

事務局: 現時点では人事交流までは実施できていない。研修を通じて職員同士の交流を図っている。

事務局: オンライン服薬指導や医薬品の配送も含め本事業について一体的に考えている。薬剤師会との調整や関連法規の整理を行いながら実証を進めていきたい。

委 員: 第1期共生ビジョンにおける地域公共交通については伊那本線と市街地循環バス内回りが掲載されていたが、第2期ビジョンでは市街地循環バス内回り掲載されていない。

理由についてお聞きしたい。

事務局：現在のビジョンでは伊那本線と連携し、中心市の交通利便性を高めるため、市街地循環バス内回りを実施してきた。一方、市街地循環バス外回りは伊那市地域公共交通会議において実施しており、内回りについても交通会議へ一本化した。そのため、来期ビジョンは市街地循環バス内回りを削除した。なお、本事業をビジョンから削除することで、利便性を下げるものではない。

委員：子育て拠点施設の相互利用の広報について、ホームページで行うこととなっているが、利用者側は各自治体のホームページを閲覧するのか。

事務局：現在は3市町村それぞれのホームページで周知しているが、今後は、部会で検討する中で相互にホームページからリンクできればと考えている。なお、昨年度は3市町村の共通のパンフレットを作成している。活用し広報したい。

委員：近年コロナの影響で長野県への流入人口が増加している。その中には伊那地域で暮らしたいで暮らしたいというニーズがある。そういった新しい状況を踏まえて、この第2期ビジョンの特に空き家バンク事業の中ではどのように考えているのか。また、今後、どのようなことが考えられるのかお聞きしたい。

事務局：現状では各市町村が独自に施策を行っている状況である。

委員：情報インフラについて、現在の在宅勤務の状況を考えたときに、圏域内あらゆる場所でネット環境が整備されていることが必要となる。セキュリティ上、高い技術が求められると思うが、圏域内で高速のネット環境に接続できる環境を整備することは移住定住の取組上も効果的ではないか。

事務局：各市町村の状況を踏まえ、今後、部会で検討したい。

(3) 第2期共生ビジョン 工程について

会長：事務局から説明をお願いします。

事務局：（資料3により説明）

会長：説明内容について、御意見、御質問等はあるか。
（特になし）

(4) その他

会長：説明内容について、御意見、御質問等はあるか。

委員：資料1で子供の貧困について意見が出ている。現状、コロナでの貸付事業を行っているが、外国籍の生活困窮が顕在化してきている。学校現場でもそのような問題がある。今回の共生ビジョンでの改訂では掲載は難しいとは思いますが、通勤・通学範囲である広域での連携事業を検討いただきたい。

事務局：各市町村の状況を踏まえ、今後、部会で検討したい。

アドバイザー：第2期ビジョンは前期に比べて事業数も増えている。実証から実用に移行している印象である。コロナ関係で経済状況も変化している。柔軟に見直しを図りながら実施いただきたい。公共交通では県では地域公共交通ネットワークの構築の中で公共交通カルテを作成している。来年度は上伊那でも実施予定のため、こちらも参考に実施いただけるとありがたい。

4 その他

事務局： 次回の協議会については6月頃開催予定。

5 閉 会